



# 南っ子だより



学校教育目標 「共に輝く たくましい 南っ子」

重点目標 「あふれる笑顔 熱い瞳 まぶしい汗」

文責 森 佐和子  
伊豆市柏久保425-1  
0558-72-0149

## フレーズとスタンス

伊豆市立修善寺南小学校長 堀江 健司

そういえば、この人こういう顔だったなど、しみじみ眺める機会が最近多くなってきました。それは、とりもなおさず、マスクを外す機会が増えたということです。マスク姿が当たり前となって3年、久しぶりに口元が見えた旧知の顔に接し、懐かしさを感じると共に、ここ1~2年の付き合いだった人は、ついぞマスク姿をその人と捉えていたなど改めて思い起こしました。自分はまだ手放せずにはいますが、表情が見えない伝わらないことや暑さのことを考えると、時と場合によっては外した方がよいという判断をしていく必要があるかもしれません。

さて、表題のフレーズとスタンスですが、東大卒の食文化研究家「スキアカツキ」さんのエッセイから引用しました。料理の話ではなく、この方のお母さんの子育てに関することです。専業主婦で高い学歴を有したわけでもなかったこの方のお母さんは、この方の兄と二人の子供を東大に入学させるまでに学力を高めました。その子育ての極意についての話です。ちなみに、東大に入ることが子育ての成功と捉えているわけではありません。子育ては百花繚乱、子供の数だけあって当たり前です。成功も失敗ありません。ただ、一心不乱に子育てをした(みんなそうですが...)お母さんに、生涯学び続ける人を育てるヒントがあると考え、載せてみました。

### 「フレーズ」

この前に「絶対言わなかった」がつかます。このお母さんは「勉強しなさい」「将来〇〇になりなさい」というような懇願・期待のフレーズを絶対言わなかったそうです。相反する結果として、勉強好きで読書好きな子供に育ちました。このような話は聞いたことはありますが、実践していくのは極端に難しいでしょう。ゲームばかりしている子供に向かって、つい言うってしまうのは当然です。自分もそうでした。では、そんなときこのお母さんは何をしたかという...

### 「スタンス」

期待の言葉よりも、自分の姿勢で見せるスタンスをとっていたといいます。どんな姿勢かというと、自分の趣味の時間を大切にすることだったそうです。好きなことを大切にすることだけでなく、好きなことを高めるため楽しく学ぶ姿勢も、実践を通して示したそうです。そして、「本は最高の親友、最高の先生」ということも伝えていました。その結果「好きなことを大切にしている大人は素敵だ」という価値観が形成されていきました。



もう一度いいますが、このスタイルが正解だと言っているわけではありません。スキアカツキさんもすすめているわけではありませんが、お母さんから学んだこととして、『自分たちが考えて実行していることなので、すべてにおいて後悔がない』と自信をもって述べていました。どんなフレーズでもどんなスタイルでも、後悔がないようにしていきたいものです。これを読んだ私自身は後悔ばかりです。

特集!

5年生

# 自然体験教室

6月1日・2日、5年生がRECAM P中伊豆にて自然体験教室を実施しました。



なぜこのタイミングで台風・・・と半ば諦め掛けていた6月1日、なんとなんと終日良いお天気に恵まれました。子供たちがてるてる坊主を作っていたから願いが届いたのかな。この日は6年生の修善寺歴史巡りや2年生の地域巡りもあったので、晴れて本当によかったです。

5年生は、木の伐採体験で自然を体感し、お箸作りで物作りの楽しさを体験し、カレー作りで仲間と協力することを学び、キャンプファイヤーを通して絆を一層深めました。2日目はプログラムを切り上げ早めの帰校となりましたが、充実した時間を過ごせていたと思います。

帰ってきた5年生を迎えてくれたのは、6年生が書いてくれた黑板メッセージ。なんて温かい6年生なんでしょう。疲れ切っていた5年生の顔がほっりと緩み、とても嬉しそうでした。

## 【保護者の皆様へ】

6/1~2にかけて、天候による登下校関連の連絡をさせていただきましたが、保護者の皆様の迅速な対応により、子供たちの下校もスムーズに行えました。ご協力ありがとうございました。

これからの季節、このような連絡をする機会も増えることが予想されます。今後もこまめにすぐるの確認をお願いできればありがたいです。よろしくお願いします。

